



日本健康教育学会主催 参加型交流セミナー（第三弾）

個別対応とヘルスプロモーション

## 特定保健指導での困難事例から考える

みんなで考えよう！話し合おう！共有しよう！

日 | 2010年2月6日（土）  
時 | 13時30分～17時30分 （その後、懇親会）

会場 | 女子栄養大学駒込キャンパス3号館5階小講堂  
〒170-8481 東京都豊島区駒込3-24-3

## 準備委員からのコメント…

### 困難事例の定義

「保健指導の実施や介入効果について、  
指導者が困難を感じたり懸念する症例」

（福田、志村、佐野：日本健康教育学会、2009）

# 困難の要因の整理が必要

(準備委員の当初の想定)

自分の健診結果に全く無頓着な人  
面接時の反応はいいが全く継続しない人

面接後の連絡の取れない人

指導を受けようとさえしない人

超重症域で保健指導どころではない人

メンタルヘルスやがんなど他の疾患を併せ持つメタボの人  
健診や保健指導の時間さえとってもらえない



**当初想定より、より深いケースの提示**

## 困難の要因

個人・家族

組織

地域・社会

対象者

支援者

本日のグループワークでは対象者・支援者双方の要因が提示された



# 20年度特定保健指導結果報告会



約20,000人の特定保健指導を  
施行し、問題点を抽出

H教育センタ（2008.5）

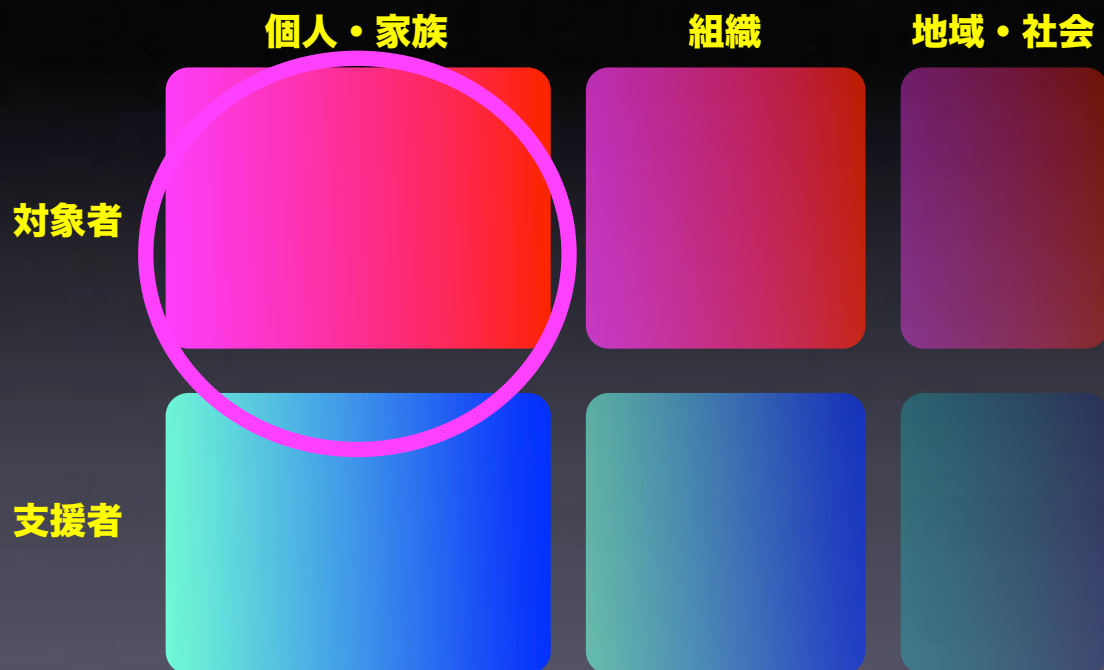


福田、志村、佐野:日本健康教育学会（2009）



福田、志村、佐野:日本健康教育学会（2009）

## 困難の要因



熟練するほど対象者の要因に目がいきがち

## 困難事例の検討から…

事例A: メタボよりわがまま社長

事例B: メタボよりタバコ

事例C: メタボより奥さん

事例D: メタボより過重労働（メンタル）

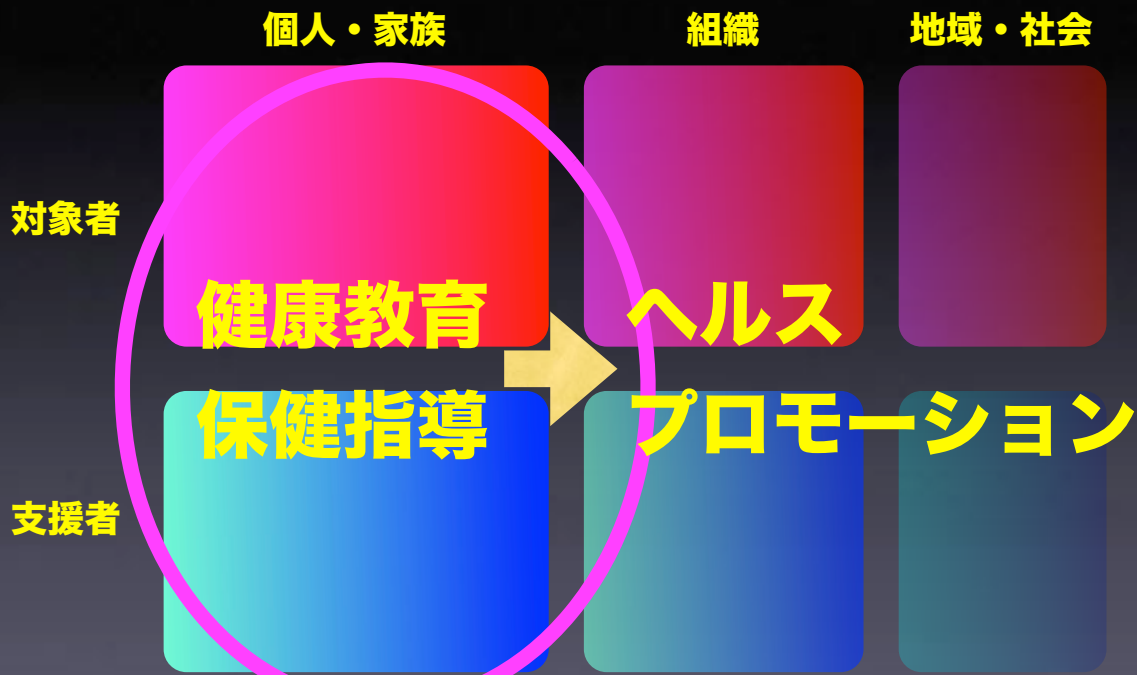
事例E: メタボよりQOL

メタボよりLDL

事例F: メタボだけど満足

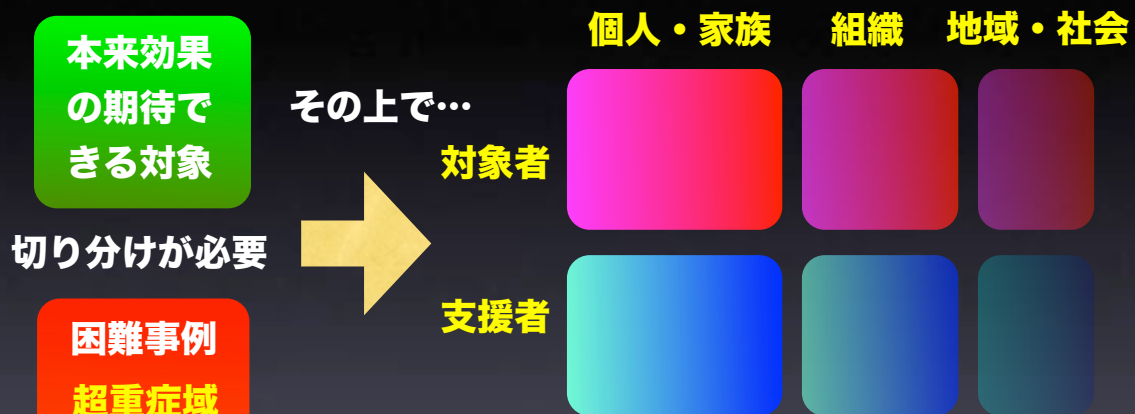
**本来、メタボに対する特定保健指導とはそういうもの!?**

# 困難の要因



ヘルスプロモーションの視点を持つと困難解決の可能性は大きく変わる

# 枠組み・制度自体の課題



メタボリックシンドローム対策全体を俯瞰した枠組みの再検討が必要  
(ポスト特定保健指導?)